

あいち防災フェスタにブース出展

～日本地震再保険社と連携し、ハザードマップの周知・地震保険の普及促進等を実施～

日本損害保険協会中部支部(委員長:松田 謙二郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員)は、11月11日(土)に名古屋港ガーデンふ頭で開催されたあいち防災フェスタにブースを出展しました。

愛知県では、県民に防災への関心を高めてもらうため、また、地震への備えを進めてもらうため、平成19年度から毎年「あいち防災フェスタ」を開催しています。このイベントは、愛知県民、自主防災組織、企業、NPO、ボランティア等が連携し、一体となって防災対策に取り組む防災協働社会の連携を推進するとともに、家具等の転倒防止対策や防災ボランティア活動への理解促進を図ることを目的としています。

今回は、初出展の日本地震再保険株式会社と連携・隣接ブースで出展し、日本地震再保険社は「備蓄品チェックリスト」の配布、地震保険制度の解説、防災ヘルメットの普及促進を行い、損保協会中部支部はハザードマップの周知や「ぼうさい探検隊マップコンクール」受賞作品の展示、防災カードの作成等を実施しました。

当日は約250組の家族連れ等が両ブースに来場し、両ブース展示を見て説明を受けたり、日本地震再保険社ブースで同社作成動物シールを貼付した防災ヘルメットを触ったり、損保協会ブースで写真入り防災カードを作成したりしました。防災カードについては、「災害などで家族と離れたときや自分の意識がはっきりしていないときに、写真入りのカードがあるといいですね」といった声や、「(小さいお子さんに) 常時携帯させておけば何かのときに安心ですね」といった声がありました。

当支部では、会員会社と連携し、地域の防災力を高めるため、今後も防災・減災啓発活動を進めていきます。



＜日本地震再保険社と隣接ブースで出展＞



＜地震保険普及啓発や防災教育を実施＞



＜写真入り防災カード作成の様子＞



＜写真入り防災カード作成のための写真撮影＞



<日本地震再保険社作成シールを貼付した防災ヘルメット>



<啓発チラシの配布・説明>